

長野大学の各学部及び学科の教育研究上の目的については次のとおりとする。

#### 【社会福祉学部】

社会福祉学科は、これまで教育目標として「現代社会の様々な生活・福祉問題を、社会科学の視野に立って総合的に分析・解明・対処するための専門的知識と実践的応用力を身につけ、地域社会の福祉の質を向上させる人材を育成することを目的とする。」を掲げ、学科開設以来 31 年にわたり福祉人材の養成を行なってきた。

社会福祉学部にあつては、こうした伝統を継承し、さらに 21 世紀の新たな福祉システムに関する先端的な教育研究の拠点形成を目指し、今日的な課題に即応し且つ福祉社会形成の担い手となる福祉専門職の養成について一層の質的向上を図ると共に、長野県の特徴を活かした福祉と保健・医療の連携による総合的地域ケアシステムの実証研究と理論形成に取り組む。

#### 【環境ツーリズム学部】

社会発展と自然環境との共生という 21 世紀の人类的課題にこたえ、豊かな自然と文化の環境を保全し活用する観光の振興によって、地域社会の持続可能な発展を追究する教育研究を行なう。その教育研究をとおして、自然と文化にかんする豊かな知識、人を大切にする心、そしてよりよい地域社会を創るマネジメント能力と観光・ホスピタリティ・環境にかんする専門的な能力を培い、社会の幅広い分野で活躍する「教養ある職業人」を育成する。

#### 【企業情報学部】

高度情報化をよりよい経済活動と社会生活に結びつける 21 世紀の人类的課題にこたえ、情報通信の技術革新を基盤に地域社会のイノベーションを追究する。課題発見・問題解決能力を養い、最新の情報通信技術、組織の管理運営、情報メディアとデザインなどの専門的知識と能力を育てる教育研究をとおして、企業経営から自治体行政、住民生活まで地域社会全体のイノベーションを実現する「教養ある職業人」を育成する。

長野大学大学院の研究科及び各専攻・課程の教育研究上の目的については次のとおりとする。

#### 【総合福祉学研究科】

総合福祉学研究科は、「高度創造・デザイン社会」を支える多様な施策、活動、技術を研究開発及び教育することを目的とし、高度に専門的な活動に従事することのできる社会福祉専門職を養成する。

#### 【社会福祉学専攻博士前期課程】

地域の福祉課題の解決と同時に新たな福祉課題を発見し、あるいは予測して、政策形成につながる実践研究を重視し、社会福祉の思想・理論、制度・政策、援助技術、研究・調査方法等において高度な知識と技能を体得する。このことを通して、地域の福祉課題の解決に資するための研究能力を有する高度専門職業人や研究者を育成する。

#### 【社会福祉学専攻博士後期課程】

社会福祉にかかる各自の実践や活動、研究を根拠（エビデンス）に基づく研究として言語化・科学化して社会に発信する能力の修得、開発を目標とする。既存の政策を批判的に吟味し、その改善を図り、さらには新たな政策を構想・提案することを目標とする。このことを通して、より高次の自律性をもつ専門職従事者、研究・教育職従事者、管理的な職務に従事する専門職従事者、研究・教育職従事者を育成する。

#### 【発達支援学専攻修士課程】

発達支援に関連した地域の福祉的課題、特に、児童・家庭福祉や学校教育における心理社会的な課題を発見し、これを解決するための優れた支援方法を探求する実証的な研究を積極的に推進する。このことを通して、多領域の学術的知見や研究技法を援用しながら、地域の発達支援の課題の解決に向けて研究並びに実践活動を遂行する能力を有する高度専門職業人や研究者を育成する。